

ここが聞きたい！ 一問一答

個人質問
15人



12月定例会
で行われた
一般質問の様子を
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

質問ルール

代表質問
質問時間

20分+
会派人数
×5分

個人質問
質問時間

1人
30分以内

質問回数

回数制限
無し

次回は
3月
定例会

おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。詳細はHPでも公開していますが、ぜひ傍聴にお越しください。

次回質問日(予定)

3月4日(土) 代表
7日(火) 個人
8日(水) 個人
9日(木) 個人

9時30分から!

※代表質問は3・9月定例会で行われます

議員 「笠岡には寺や社が多い。」
という冒頭の文章から、始まる小説がある。伊東潤の「触書の男」という題である。今後の展開に

市長 さまざまな価値観や思考を受け入れ、戦略的な情報発信をして地域の活性化につなげていきたい。

報収集発信についてたずねる。
期の呉と広島が舞台である。今までのにない情報発信手法で沢山の人が関心を持っている。これらを参考にした、今後の笠岡市の情報収集発信についてたずねる。

副市長 今後も、予算面で協力していきたい。今後の計画策定等で、若者のアイデアが吸い上げられる環境を整えていきたい。また、審議会等においても若者の年齢を一定の割合以上に増やしていくのを目標としている。

議員 「ぼっけーまち会議」、いわゆる若者が、いろんなことを考えて行動しているのが広報かさおかにも載っている。若い人の発想に笠岡市として積極的に協力すべきであると考えるが、どうされるのか。

議員 「ぼっけーまち会議」、いわゆる若者が、いろんなことを考えて行動しているのが広報かさおかにも載っている。若い人の発想に笠岡市として積極的に協力すべきであると考えるが、どうされるのか。

待っているが、笠岡市の対応をたずねる。
政策部長 こうした小説が笠岡を舞台にして書かれていることを何らかの形でPRしていきたい。

若者の夢の実現を応援しよう



うまこしゆうせい
馬越裕正議員

